



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第41回例会(5月16日)
平成26年5月23日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 眞也
クラブ通話電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. 'ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を'…… Ron D. Burton



ゲスト卓話

「若者の就労支援の現場から ～ジョブカフェいわての取り組み～」

ジョブカフェいわて センター長
平藤 由美子 様

●スピーカー紹介●

盛岡市出身。岩手大学教育学部卒業。
(主な職歴) 青年海外協力隊として中央ア
メリカホンジュラス共和国派遣/JICA 国
際協力隊員として岩手県に配置/岩手医
科大学スポーツ科学実験指導助手/若者
の就職支援施設ジョブカフェいわての
キャリアカウンセラーを経て、平成21年
度より現職、現在に至る。
(その他の活動経歴) 盛岡市立桜城小学校、
盛岡市立下の橋中学校(PTA会長、副会長、
他役員)/盛岡市PTA 連合会理事、岩手
県PTA 連合会母親委員会副会長/盛岡市
主催スペイン語講座講師/ベアレント・
プロジェクト・ジャパン副代表/日本
キャリア開発協会認定 CDA (Career De-
velopment Adviser) 資格取得

□「ジョブカフェいわて」の開設について

ジョブカフェいわては平成16年に、岩手県の若者の就労を支援する施設として設置され、この7月で10年になります。

開設当初は、若者の非就労者が増え、国内でも大きな課題になっていました。ニートやフリーターという言葉が一般的になってきたのもこの頃です。就労経験がある一般の求職者と、経験のみならず、職業観の醸成もこれから、といった若年求職者とを同じ方法で支援することは困難です。そこで、岩手県では、全国に先駆けて、未来の岩手を担う「若者」に支援対象をしばって支援をする施設を開設しました。

□ジョブカフェいわての実施事業の概要

私どもの事業は多岐にわたり、若者が仕事に就くまでと、仕事に就いてからのそれぞれの節目で支援をしています。しかし、若年者への直接的な支援だけではありません。若者の周辺層である、学校、企業、保護者への支援も行っています。今回は、私どもの事業内容についてご紹介するとともに、若者の状況についても触れたいと考えております。

ジョブカフェいわては、盛岡市菜園に施設を

構え、学生や一般の求職者など多くの若者に利用をいただいています。キャリアカウンセラーという専門の相談職員が常駐し、各種就労支援サービスを提供しています。たとえば、マンツーマンの就労相談を核として、就職活動のノウハウを習得するセミナーや、企業との接点の場として、企業見学会や合同説明会も定期的に行っています。さらに、企業の講師をお招きして開催しているトークイベントは、これまでに60名近い方々にご自身の仕事についてお話をいただき、職業に対する先入観の払しょく、仕事の魅力の再発見など、職業観を醸成する大変いい機会になっています。

ぜひ、ロータリークラブの会員の皆様にもお越しいただきたく思っております。

□高等学校・大学・教育機関との連携

また、私どもは施設の中だけではなく外部でも積極的に活動をしています。高等学校や大学には年間100回を超える出張セミナーを実施しています。教育機関との連携は、包括的な支援を実施する私どもの特徴といえます。この活動をとおして得られた支援ノウハウは、求職者や企業向けの事業企画にも生かされています。

□保護者向けへの意識啓発の取り組み

また、この4月・5月は保護者に向けたセミナーにもお邪魔する機会が多くあります。会員の皆様もお子さんの就職についてはご経験のある方もいらっしゃるかもしれません。ご存じのとおり子どもは、就職に関して保護者の影響を大きく受ける傾向にありますので、一番近くの大人が担う役割は大変大きいです。

①お子さんが、世の中の仕事に触れる機会を多く作ってください。

お子さんの就職先の決め手は、「知っている仕事・知っている会社」からです。知っている仕事を増やす一歩は、まずは、ご家庭で皆様ご自身のお仕事の話や、ほかの業界とのかかわりも織り交ぜながら話す時間を作ってください。仕事の内容はもちろんですが、苦労話やそこをいかに乗り越えたかという話は、おのずと、仕事のやりがいや魅力にも結びつき、子供が興味を持つきっかけになります。

②お子さんの話を聞く時間を作ってください。

お子さんの興味のあることや希望をじっくり聞いて、どうしてそう感じているかを自分の言葉で話せる状況を作ってください。皆様方も、自分の考えを自分の言葉で伝えることができる人を採用したいとお考えのはずです。お子さんの良いところを知っている保護者が、お子さんの良いところを自信を持って人に話せるようにしてあげてください。それを形成できうるご家庭だからこそそのキャリア教育につながります。

就職活動中のお子さんは、ただでさえ、自分に自信を失いがちです。初めて一人で知らない大人との面接に立ち向かわないといけない状況です。普段から、会話の機会を増やし、お子さんが自信を持って話せるようにしてあげてください。

□企業様向けの人材確保・人材育成の取り組み

また、私どもの取り組みのもう一つの大きな

柱は県内企業向けの支援です。

〈若者の就職環境〉

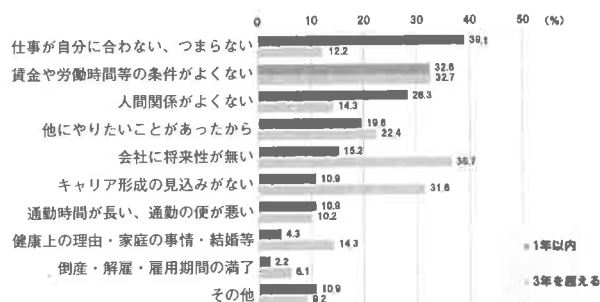
昨今、報道もされておりますように、有効求人倍率も上昇し、若者が就職しやすい環境であるといえます。しかしながら、一方で課題もあります。自己理解と職業理解が十分でなく、応募企業の選択に時間がかかってしまう。また、せっかく就職したにもかかわらず、離職してしまうといった早期離職の問題も重要です。たとえば、岩手県の新卒高校生の1年以内の離職率は全国平均を上回り、3年連続で上昇しています。景気がよくなって雇用市場が活性化すると離職も含めた労働異動が起きやすいという傾向もあります。

●なぜ、早期に辞めるのか

離職理由として挙げられるのは、厚労省の調査によりますと、

- 1位に「仕事に合わない、つまらない」
- 2位に「賃金や労働時間等の条件がよくない」
- 3位に「人間関係がよくない」と続きます。

■高校を卒業した入社一年目の新入社員の離職理由



出典：厚生労働省委託「若年者の職業生活に関する実態調査（正社員調査）」

これらの理由を考察してみると、もし、同僚、先輩、上司など他者に相談する機会を持てていれば、回避できた離職が多々あることが見えてきます。

多くの経験を積むべき時期に、仕事の面白さを実感する前に離職をすることは本人のみならず、企業にとっても大きな損失となります。

ジョブカフェいわてでのアンケートで、県内の

新入社員に対して、先輩社員から言われて残念だったことを聞いてみました。存在や人間性を否定したりする言葉は当然指導をする必要がありますが、先輩や上司が激励のつもりで伝えたとしても誤解されて受け取られていたりすることもあるようです。若手社員の状況や、互いの信頼関係を考慮して、言葉を発する必要があることがうかがえます。

■平成 25 年度の新入社員へのアンケートより抜粋：「先輩や上司からいわれて残念だった言葉」

- ・言われたことをただこなしてるだけじゃ成長できないぞ。
- ・会社は新人育成所じゃない。
- ・危機感を持ちなさい。
- ・結果が出なければ意味がない。
- ・もういいよ。やらなくていいよ
- ・話が合わない。
- ・センスが無い。
- ・一緒に仕事していて疲れる。
- ・こんなのもできないの？

また、新入社員がもっとも入社前に不安に思っているのは「上司や先輩との人間関係」であることも、私どもの調査でもわかっています。この点でも、普段の相互の意思疎通が、仕事の効率向上や早期離職防止にも必要不可欠なことだと気づかされます。

採用から育成までの一貫した取り組みを企業内でも進めていただけるよう、私どももお手伝いをしていところでございます。

〈人材確保に関する取り組み〉

県内企業の多くは、「応募してもなかなか集まらない」あるいは「採用したが、なかなか定着しなかった」など、採用に関する課題を少なからずお持ちです。先にご紹介した合同説明会や見学会は県内企業の魅力を発信する人材確保支援の一環です。業務内容や、求人票だけでは伝えきれない企業の魅力を直接若者に話していただいています。職業について情報不足の若年の適切な職業理解につながるだけでなく、「就職したけれど、思っていた仕事と異なっていた」など、入社後のミスマッチを予防することにもつながっています。ジョブカフェいわてのアン

ケートによると、若年者が最も知りたい情報は「職場の雰囲気」、続いて「求められる人材像」といった声が多くあります。若者が知りたい情報も企業から発信していただくことで、さまざまな成果に結びついています。

■平成 26 年度 4 月の合同説明会・見学会の感想

- ・「自分がもし働いているならば」というイメージをもって見学をすることができました。(見学会参加者)
- ・企業の雰囲気を知ることができた。
- ・選択の幅が広がった。
- ・直接会社の方とお話する機会をえられて、空気などを知ることができた。

〈育成支援に関する取り組み〉

さらに、企業内の育成環境を整備する支援として、「新入社員」「先輩社員」「リーダー」「マネージャー」「経営者」といった人材育成に関わる研修を各層に実施しています。今年度も、県内の各地域で実施をいたします。ご案内をしたばかりですので是非ご活用ください。

昨年も 426 名の企業の方に研修にご参加をいただいております。

経営者や管理者層の皆様も社内の人材育成における課題を感じていらっしゃるようです。

■平成 25 年度の企業向けのアンケートより抜粋

- ・若い方が長く勤めてくれるよう環境づくりを日々模索しています。
- ・若手社員と同年代の社員が少ないので、その点のフォローをどうしたらよいか思案中です。
- ・配慮はしていますが、小さい企業なので実践での育成になってしまいます。研修期間をも少し増やしたい希望はあるのですが、難しいのが現状です。
- ・学卒者をはじめ中途採用者も定着率が低くとても困っています。
- ・新人の育成とともに、中間層、指導的職員のための育成が必要だと考えている。

ジョブカフェいわては、年間約 3 万人弱の若者に対して支援をおこなっています。今後も、若者の周辺層と連携し、岩手の若者が就職し、長く企業内で育成されうる環境づくりにこれからも貢献をしてまいります。

第2回ゴルフ練習会開催



5月18日爽やかな新緑のもと、美しく手入れされたメイプルCCにおいて、近年にない多数の参加者で景色とゴルフを存分に楽しんで参りました。

優勝の楢崎憲二会員には「鈴木貞雄皆出席57年達成記念杯」が渡されました。
(親睦委員会ゴルフ担当 吉田育弘)

【参加者一覧】

荒道泰之	平井 滋	岩野法光
楢崎憲二	田中堯史	藤村文昭
市丸清志	熊谷隆司	小川 惇
吉江信博	福田莊介	近藤 駿
荻野忠良	吉田育弘	吉田幸一
古山明廣	近藤美和子	荻野宏子
吉田はるみ	吉田 律	(順不同)

例 会 報 告

第41回例会
平成26年5月16日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 平井 滋会長
 - ・ソング 我らの生業
 - ・四つのテスト斉唱
 - ・会長報告 平井 滋会長

- ・ゲスト 平藤由美子様 (ジョブカフェいわて センター長)
- ・新入会員紹介
豊岡正幸会員 三井住友海上火災
保険(株) 岩手支店長
紹介者：荒道泰之会員
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【ニコニコBOX】

- ◆勝 雅行君…平藤さん卓話ありが

とうございました。いつまでもカワイイ、1っこ下の後輩に感謝してニコニコします。

- ◆藤村吉隆君…同級生の豊岡さんのご入会を祝してニコニコします。私と違って非常に優秀な方ですのであまりくらべないようにお願いします。

出席報告 会員数 /71 名 出席数 /36 名 出席率 /52.94% 前々回修正出席率 / 休会

プログラムの
お知らせ

・5月23日(金) ゲスト卓話 井上和則様 (盛岡少年鑑別所 所長)

「盛岡少年鑑別所報告」

30日(金) 新入会員卓話 竹中陽一会員

●本号編集担当 / 藤田 治彦

●次号編集担当 / 鹿野亮一郎